

【国家試験受験能力到達度試験参加者】の合格が、128名中68名にのぼる

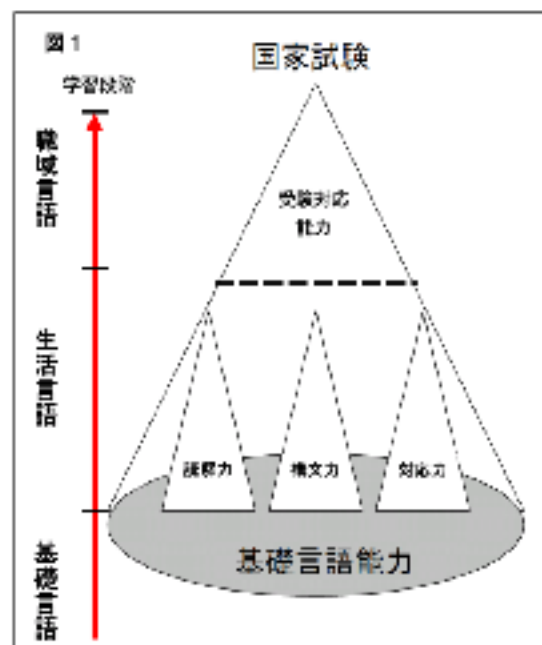
二年連続合格率、過半数を占める！！

国家試験合格者数に占める【到達度試験参加者】の実績は、昨年第一回目の国家試験では36名中、19名（52.7%）でしたが、今年第二回目では128名中、68名（53.1%）に達しました。

【到達度試験参加者】の合格率は、二年連続、全体の過半数を占めて、その優秀さを示しました。これは、国家試験受験までの三年間を、「どのような学習をするかで合否が左右する」ことを表しており、今後、国家試験に挑戦する受験者は、対応を考え直す必要に迫られています。弊社では、介護領域の外国人教育の質を向上させ、業界の利益擁護のために、「国家試験合格の秘訣」と、ノウハウを紹介することにしました。

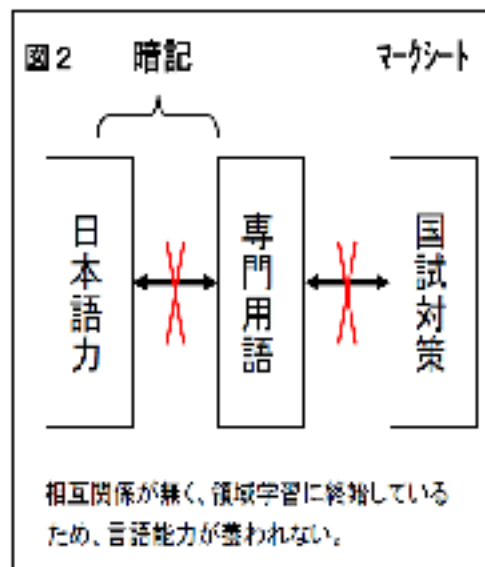
1. なぜ、【到達度試験参加者】の合格率が高いのか？

- 受験対策方法は、図1の考え方に基づいて、「学習計画表」に沿って段階的に学習します。そのために、確実な言語能力【使える言語能力を養う】ことができ、国家試験対応能力を身につけるとともに、職場や生活の場でも、正しい日本語を使って生活できるようになります。学習方法の考え方は、【大局的に観て、総合的に考えて、体系的に創り、継続的に行う】という視点です。学習したものを完全に自分の言語能力にできるため、合格者を多数輩出する大切な要因となっています。
- 具体的には、生活や職域で言語能力を発揮しながら、様々な対応能力を向上させるために、【到達度試験参加者】は10段階に分けられた「言語能力別試験」を定期的に行います。そして、決められた到達度に達するまで何度も試験を受けなければ、次のレベルの試験を受けることができません。即ち、最低必要な言語能力を確実に身につけない限り、次のレベルには進めないことになっています。ただし、毎回の試験結果が出ると、10項目以上の言語技能別の数値が出ますので、その数値に基づいて、具体的な学習指導が「考察票」で知らされ、その「考察票」に沿いながら、【自学して学ぶ】ようになっています。なお、自分の到達度を定期的に数値で知ることができるために、「自分を客観視できる」という利点があり、自学する意欲の基になっていることも、教育効果を上げる要因になっています。
- さらに、第一回目の【到達度試験】から毎回定期試験毎に、【到達度試験集計表】が提示されますので、「どのくらいの時間で、どのくらい伸びたのか」が、はっきり視覚的に捉えられるため、受験者の学習意欲を高める要因となっていることも、【到達度試験】の特徴です。
 (※ 号外で合格者67名と発表しましたが、非公表の中的一名が【到達度試験参加者】であったために、68名になりましたので、訂正致します。)



2、なぜ、【到達度試験参加者】は初回で合格できるのか？

- 【到達度試験参加者の学習計画表】では、一年間あれば、十分に国家試験受験能力が備えられる学習方法です。しかし、最低三年間の在日経験をした人が、国家試験受験資格を得られることになっているために、十分な受験能力があるにも関わらず、残りの約二年間は、施設内の実務を行いながら専門知識と、介護実務能力を身につけることになります。この期間は、専門知識と実務能力の向上を中心とした【職域で使える言語能力を養う】ことを目的として学習するために、国家試験問題に十二分に対応できる能力が備わるわけです。

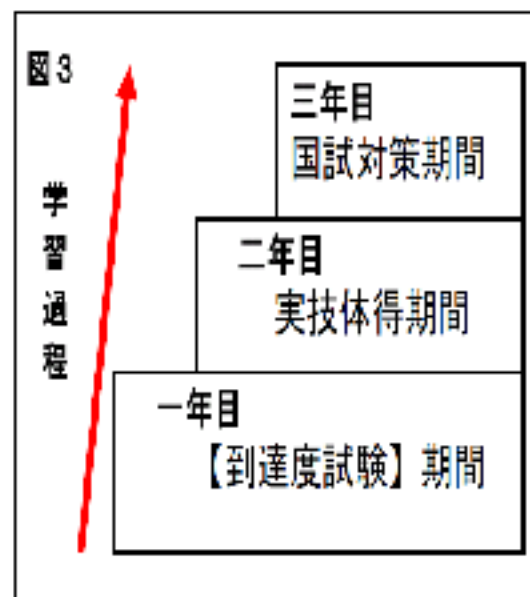


- 【到達度試験参加者】以外の多くの受験者は、図2のように分断した学習方法で、暗記法やマークシート方式の過去問題練習などを中心とした学習をしているために、人間が必要とする言語能力を養うことができないでいます。その結果、学習意欲を無くし、約三年間以上も時間を無駄に費やして、合格できずに帰国しているのが実状です。

3、なぜ、合格後にすぐに業務ができるのか？

- 前述した1と2の学習方法で、確実に言語能力を身につけるために、「知識としての言語力」ではなく、【使える言語力】を身につけることにより、国家試験合格後にはすぐに、日本人と同等に、職域で即戦力として業務ができるようになります。机の上の学習だけでなく、併行して、職場で過去問題中心に、介護実習を実体験しますので、「学んだ知識を直ぐに職場で体得する」ことができることも、大きな特徴です。即ち、【知識の修得を直ぐに実技として体験する】いわゆるキャッチボール式の学習方法が一つの学習体系になっていますので、国家試験問題は【到達度試験参加者】にとって、平易な試験と感じられているのは当然のことといえます。図3は、入職から国家試験までの約三年間を、いかに計画的に過ごしていくかが、「合格後の実践力になるか否か」を左右する大きな要となることを表しています。

- 寄せられてくる声の中には、「事業団の方針」は一年目に日本語学習、二年目から専門用語と国家試験対策、という声が届いています。もし、これが事実だとすれば、事業団の方針は言語教育の基本的な姿勢から全く外れており、【受験者の言語能力を養う】というよりは、「暗記法による専門用語の習得と、受験テクニック指導につけるもの」で、人間の脳の働きからすると全く異質な方針です。その結果が、一回目、二回目の国家試験合格結果を生み出しているといえます。



外国人に対して、外国語である日本語を習得させるためには、【国家試験問題も日本語であるという認識が必要】という本質を全く忘れて、日本語力を国家試験と分離することは、受験生の学習意欲と教育効果を無くすものです。合格のためには、図3の様な学習段階を組む必要があります。

【国家試験受験能力到達度試験】を受けて、 合格した施設の喜びの声

滋賀県・福寿荘（全員合格）

滋賀県で唯一、合格者を出した！！

- 入職してすぐに【到達度試験】に参加しました。入職時にはほとんど日本語力はありませんでした。【到達度試験】は、マークシート方式ではなく、記述式で答える問題だったために、「読解力」と「文章力」が一番身につきました。そのため、国家試験対策をしている時でも、国家試験の過去問題が易しく感じられているようで、自分達でスラスラ読み、問題も解きこなせていました。
- 業務を行うにあたっては、何も問題は無く、日本語力が身につけているために、日本人の職員、それ以上に業務を頑張って取り組んでくれています。朝の申し送りをしなくても、すぐ現場に入って仕事をスムーズに行えているので非常に助かっています。また、早出・遅番も問題なくこなしており、新しい人にも仕事を教えられるような存在にもなっていて、非常に頼もしいです。

岐阜県・ラック（全員合格）

今後の受け入れ候補者の指導者にしたい！！

- 入職して一年後に、【到達度試験】に参加をしました。その前の一年間は、職員が手探り状態で指導をしていましたが不安があり、【到達度試験】のことを知り、参加をしました。
- 施設内では、去年の9月から毎日、四時間ずつ試験対策を行ってきました。【到達度試験】の「国家試験対策1～3レベル」の問題は、実際の国家試験問題よりもレベルが高く作られているために、「読解力」を養うためには非常に力が身につけられたと感じています。その結果、合格することができました。
- 現在、業務を行う面では何も問題ありません。特に、「構文力」があるために、コミュニケーションをとるにも支障がなく、業務に必要な記録をとるにも、問題ありません。今後、新しく迎え入れる外国人が来た時には、彼女達を指導する人として活躍してほしいです。

静岡県・みくらの里（全員合格）

介護士合格から、看護師合格を目指す！！

- 入職してすぐに【到達度試験】に参加しました。周りに日本語の専門家がいるわけでもなかったために、御社の日本語の教材だけを頼りに日本語学習をしてきました。試験を実施した時に送られてくる考察指導に忠実に従って、学んできた結果、日本語力をしっかりと身につけることができました。日本語の細かい点が教材に書かれていたので良かったんだと思います。
- 【到達度試験】に参加した結果、国家試験問題を読み解く能力が一番身についたと感じています。過去問題もスムーズに読みこなして学習していました。特に、日本語の意味理解が日本人と同じ理解の仕方をしていました。そのために、間違った捉え方をした時に、どこが間違ってしまったのかを、自覚しながら学習していました。
- 業務を行うにあたっては、お年寄りや職員とのコミュニケーションは全く問題ありません。三年半、日本に滞在していますが、母国との文化の違いを越えられないこともある様ですが、それは少しずつ慣れていくと思います。
- 【到達度試験】を受けた結果、「構文力」が身についたので、記録類を書くことも、これからさらに、訓練を重ねていくようにします。彼女は、「看護師資格を取得する」ことを最終目標にしているので、これからも「自分で学習して頑張る」と、言っています。

広島県・美山荘 (一名合格)

利用者さんの言葉のニュアンスも理解できる！

- 入職してすぐに【到達度試験】に参加しました。
【到達度試験】は、レベルが高くなるにつれて問題も難しくなります。目標合格値に到達しない限り、次のレベルに進めません。一回だけでは目標数値に達することが、なかなかできないために、何度も再試験をしなければなりません。しかし、再試験になって到達度の数値が高まり、日本語能力が確実に身につけられたんだなど、感じました。
- 日本語で全て答える記述式の試験だったので、最初のうちは、とても苦労しながら学習していました。受験者自身は、日本語ができなくても国家試験に合格すれば良いという気持ちが強かったのですが、この試験を受けて、日本語能力の重要性を感じることができました。そして、「日本語のニュアンス」や「試験問題を読み解く力」が、【到達度試験】に参加したおかげで、十分に身につけられたと感じています。利用者さんとも「日本語のニュアンスの違い」も問題なく、スムーズに会話ができます。

合格したのに、既に全員帰国・・・ (到達度試験参加者ではありません。)

- 五名受け入れをして、一名は途中帰国をしました。そして、四名受験して、二名合格しましたが、不合格者も含めて全員帰国します。合格したことに対しては、施設としても本当に嬉しく思っていますが、残って仕事をしてくれたらどんなに良かったかと残念に思っています。
- 受入れに対しては、施設としては最大限の努力をしてきました。また、受け入れに関する書類や助成金の申請の事務手続きが多岐にあり、丸二日間位をその業務に費やされてしまいました。現場の仕事をこなした上に、受入れ事務手続きも一人で行っていたので、本当に煩雑で大変でした。事務手続きだけでも軽減されたり、国か事業団がやってもらえたら、それだけでも、どんなに受入れ施設は助けられることかと感じています。
- 合格して、せっかく仕事も覚えられていたのに、帰国されては、施設としては仕事の配分やローテ

<来年2月に国家試験を受ける施設の声>

月報17号、「合格に必要な三大条件」の 必要性を読んで納得！！

- 「合格に必要な三大条件」の内容はとても分かりやすくまとめられていて、施設内での指導の参考に使っています。
構文力が無いために、申し送りや記録が上手く書けずに、業務上で実践的な人材になっていません。また、「施設の声」にも「合格は難しい」とか「教育効果が上がらない」など、厳しい意見が書かれていましたが、うちの施設の受験者も、試験問題の読解がなかなかできなくて困っています。
(福岡県・S施設)
- 毎回情報をありがとうございます。前回の内容はボリュームがあり、とても専門的で、研究しつくされている内容だなど思いながら読みました。「施設の声」も様々で、興味深く読みました。うちの受験生は、日本語の学習に対してなかなだるみをしている感じです。
(神奈川県・Y施設)

★★ 上記の「悩みの声」は全国から多数、寄せられています。そのために、弊社では、【教育相談窓口】を無料で設けて、皆様の悩み事に対して対応していますので、ご利用下さい。
(相談係)

ションなどに大きなくらいが生じて、施設運営としても、とても大変な事態が生じています。ましてや、当施設では五名受入れして合格者も含め、全員が一斉に帰国されてしまうとは、異常な事態と言わざるを得ません。

- せめて合格後は、3年位は同じ施設で働いてくれるような契約内容をしっかりと、国ならびに事業団が結んでくれないと、今後、安心して受入れ事業に参加する気持ちにはなりません。
(東京都・T施設)

★★ 上記の「悩みの声」と同じ声が全国から多く寄せられています。そのために、読者の声を「月報」に載せて、関係官庁に届けたいと考えていますので、弊社までご連絡下さい。
(「月報」係)

【国家試験受験能力到達度試験】 予約制のお知らせとご案内

- 去年1月に初めて行われた「外国人介護福祉士候補者」国家試験合格者は、95名中わずか36名でした。その中で、弊社が実施して参りました【国家試験受験能力到達度試験】の参加者の占める割合は52.7%に達し、合格者数は、36名中19名にも上りました。第二回目の今年1月に行われた国家試験については、322名中128名の合格者でした。そのうち、【国家試験受験能力到達度試験】の参加者の占める割合は53.1%で、合格者は76名中68名で89.4%にも上りました。
- 合格率が非常に高いために、これらの実績が評価されて、介護施設ならびに病院からの参加申し込みが多くなって参りました。4月現在では、今年12月に受け入れ予定の施設からも、はやばやと、この能力到達度試験に参加の意志を表明されている施設が多くあります。
- しかしながら、この現状を考えて弊社としては、この能力到達度試験の参加者に対する【教育効果と指導の質を落さない】ために、残念ながら、定員枠を設けざるを得なくなりました。その定員枠は下記の通りとさせていただきます。ただし、単発受験も可能。
※ 介護分野での定員枠は、60名まで。 ※ 看護分野での定員枠は、40名まで。
- 上記の定員枠を設けざるを得なくなりましたので、関係者の方々には、このことを十分ご理解頂きご了承下さい。なお、予約を御希望の方には、先着順位でお受け致しますが、定員となり次第、受付を締め切らせて頂きますので、ご理解下さいますようお願い申し上げます。
- 予約手付金を支払った予約者には、受講開始前でも「教育に関する相談を受けること」ができますので、確実に国家試験合格に向けての計画を立てられます。また、受験者の能力に合わせて個人指導の仕方についても相談できますから、「合格への道」がより確実なものとなり、合格確率が高まります。是非、この予約制をご利用下さい。

-----【国家試験受験能力到達度試験 予約申し込み書】-----

施設名：	責任者名：
住所：〒	TEL： FAX： メール：
参加者国籍：	人数：
参加者入職期：	受講開始予定日：
参加費用： @ 190,030円 × 人	合計 円
予約手付金： @ 40,000円 × 人	合計 円
【振込先】 りそな銀行新宿支店（店番）299（普通口座）3452018 小木 幸子 <small>（振込み手数料は参加者負担）</small>	

- ※ 1、受講開始は、参加費用のうち、予約手付金を引いた残金、150,030円が振り込まれて確認された後に、「教材一式」と「初回レベル試験問題」ならびに、「学習計画表」、「教材指導書」などを着払いにてご送付致します。
- ※ 2、予約手付金が振り込まれずに、参加予約申し込み書だけの場合には、予約手付金を支払っている施設・病院を優先して、予約者と致しますので、ご了承下さい。

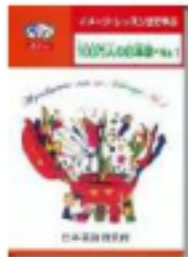
<お問い合わせ先> **ことばの研究社 小木まで TEL: 03-6317-6009**

推薦教材

「自学能力を養う」ための有効な教材紹介！！

学習者が勉強したくなる！ 楽しく・分かりやすい専門教材 》

- 【教材の特徴】 ① 視覚的に学べる ② 日本語の「規則性と用法」が学べる
 【基礎言語能力レベルⅠ】 ③ 漢字も類推して読める ④ ストーリー性があり、体系的に作られている



【テキスト「100万人の日本語 No.1」】

日本語の基礎知識を身近な事例で、分かりやすい文で書かれており、特に「だれがなにをどこでいつどうする」を使って、「規則性とその用法」が学べ、自在に会話力が身につくような内容になっています。

※ 習得漢字数 310字～620字
 ※ 習得語彙数 520語～1560語



【漢字のーと(1)】

□
 『100万人の日本語No.1』に沿った構成となっており、「文型・文の作り方」を習得しながら、効率的に漢字の読み書きが習得できるようになっています。非漢字圏の学習者が漢字習得をする上で最適です。また、中国人学習者にも同様です。



【ひらがなのーと】

□
 ひらがな文字の習得に最適な教材です。字形や書き順練習だけでなく、日本語の基礎となる「質問と答え」の仕方に必要な発話方法が学べます。身近な事例を使って学習でき、社会生活に必要な語彙も同時に学べ使える教材です。



【ひらがなカード】

□
 表裏にはひらがな文字が一文ずつ書かれて、裏面にその文字を使った語のイラストが色彩鮮やかに描かれています。イラスト面には「ひらがな・カタカナ・漢字」の3種類でその言葉が表記されており、学習者が文字を比較しながら、自学できるつくりになっています。基礎教育の日本語学習に最適な内容になっています。

【基礎言語能力レベルⅡ】



【テキスト「100万人の日本語 No.2」】

□
 会社や学校、家庭内など場面における会話文を中心に構成され、社会生活に必要な抽象語を理解しながら、性別や立場による言葉の使い分けを習得できます。さらに、本テキストを終了すると、「自分の思いや考え方」を意志表現できる能力が身につくように作られています。各ページで、日本語のあらゆる規則性と用法が自学できます。

※ 習得漢字数 420字～840字
 ※ 習得語彙数 570語～1,710語



【漢字ノート(2)】

□
 『100万人の日本語No.2』に沿った内容で、漢字習得と文の作成練習だけでなく、文章に対する読解力も、同時に養えるように作られています。漢字の「へん・つくり」の付録もあり、「漢字の成り立ち」に対する理解が、できる内容となっています。非漢字圏の学習者が漢字を習得する上で最適です。また、中国人には、日本の漢字を理解させる特徴があります。

【レベルⅠとレベルⅡの違い】

レベルⅠは、日本語を学ぶ上で重要な「規則性と用法」を学習して、【聞く・話す・読む・書く】を基本とし、日本人と同等の力を養うことができる能力を育てます。レベルⅡは、会話文を中心に「思いや考え」を日本語で表現できる能力を養います。



【カタカナノート】

□
 カタカナ語彙を使った場面を表すイラストが各ページに添付します。このノートは、新明文と会話文が繰り返されて作られています。場面を紹介する文は、外言語の理解と、その習得練習をしながら、練習問題によって、読解力と文型の応用力を養えるようになっています。

【生活言語能力レベルⅢ】



【テキスト「100万人の日本語 No.3」】

□
 テキストNO1とNO2とは違い、NO3では職場での日本語力が発揮できるように、限られた登場人物の日常的生活と仕事を通して、「日本語の使い方(運用)」力が養えるように作られています。そして、登場人物を通じて、会社での習慣や礼儀作法なども合わせて理解できることが特徴です。

※ 習得漢字数 850字～1,200字
 ※ 習得語彙数 1,110語～3,330語

【レベルⅢの特徴】

日本独特な表現、特に「語感」を習得し、人間関係を考慮した専門領域での日常会話ができる能力を高め、職場での意思伝達ができるようになります。語の種類と文の種類を使い分けながら、要約する能力を養うことで、職場での報告書やレポートが書ける能力が身につけられます。また、日本事情の知識も得られるのが特徴です。

学習段階	教材一覧	価格
レベルⅠ	「ひらがなカード」	¥1,050
	「100万人の日本語No.1」	¥2,550
	「ひらがなのーと」	¥1,800
レベルⅡ	「漢字のーと1」	¥1,360
	「100万人の日本語No.2」	¥2,550
	「カタカナノート」	¥1,360
レベルⅢ	「漢字のーと2」	¥1,360
	「100万人の日本語No.3」	¥3,000

※ 送料は別途